

CASBEE-新築(簡易版)2008年版

標榜年度 米子工場

欄にコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.30			3.1
1 音環境		3.0	0.15			3.0
1.1 騒音						
1 1 1 1 1 1						
1.2 遮音		3.0	0.67			
1 1 2 1 2 3 4		3.0 3.0 3.0	0.60 0.40			
1.3 吸音		3.0	0.33			
2 温熱環境		3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御		3.1	0.50			
1 2 3 4	ALC+発泡ウレタンt=35	3.0 5.0 2.0	0.38 0.25 0.38			
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		3.2	0.25			3.2
3.1 昼光利用		3.0	0.30			
1 2 3		3.0 3.0	0.60 0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
2		3.0	1.00			
3.3 照度		1.0	0.15			
1		1.0	1.00			
3.4 照明制御	照明回路の細分化を図る	5.0	0.25			
4 空気質環境		3.2	0.25			3.2
4.1 発生源対策		3.0	0.50			
1		3.0	1.00			
4.2 換気	関連法規の1.4倍以上の換気量を確保	3.6	0.30			
1 2 3		5.0 3.0 3.0	0.33 0.33 0.33			
4.3 運用管理	ビル館内禁煙	3.0	0.20			
1 2		1.0 5.0	0.50 0.50			
Q2 サービス性能			0.30			3.2
1 機能性		3.0	0.40			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60			
1 2 3		3.0 3.0 3.0	0.33 0.33 0.33			
1.2 心理性・快適性	居室の天井高さ 3.0mを確保	3.0	0.40			
1 2 3		5.0 3.0 1.0	0.33 0.33 0.33			
1.3 維持管理						
1 2						
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31			3.4
2.1 耐震・免震	重要度係数 1.25	3.8	0.48			
1 2		4.0 3.0	0.80 0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.33			
1 2 3 4 5 6	化粧珪酸カルシウム板仕上の採用 屋外、工場排気ダクトはSUS鋼板またはZAM鋼板を採用 給排水管にステンレス鋼管またはビニル管の採用	3.0 1.0 4.0 5.0 4.0 3.0	0.23 0.23 0.09 0.08 0.15 0.23			

2.4 信頼性			3.6	0.19			
1	空調・換気設備	負荷容量の可変制御、耐震支持の採用	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水器具、井戸の採用	4.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	耐震クラスAを採用	4.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.4	0.29			3.4
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31			
1	階高のゆとり	居室の天井高さ3.0mを確保	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.2	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性	ケーブルラックによる配線ルート確保	5.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				0.40			1.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40			1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
ER 建築物のエネルギー性能							3.4
LR1 エネルギー				0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制							
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ERR=51.7	5.0	0.43			5.0
4 効率的運用			3.0	0.29			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.1
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型器具の採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63			2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	パーティション、パネル等の採用	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.68			
1	消火剤						
2	断熱材		2.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮			4.5	0.33			4.5
2 地域環境への配慮			3.1	0.33			3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減						
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	従業員用の駐車場を確保	5.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33			2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、日照障害の抑制			1.6	0.40			
1	風害の抑制		1.0	0.70			
2	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			